



盤溪便り

ホームページ <http://www16.sapporo-c.ed.jp/bankei-e/>

札幌市立盤溪小学校



学習発表会に向けて～学びの深まりと成長の姿を～

11月に入り、校内では「学習発表会」に向けた練習や準備が熱を帯びてきました。学習発表会では、子どもたち一人ひとりが知恵を絞り、創造的・文化的な活動を通して豊かに表現する力を育むことを目指しています。また、発表そのものはもちろん、準備や移動の仕方、鑑賞の姿勢なども大切に、互いの努力やよさを認め合いながら学年・全校のまとまりをより一層高めていけるよう考えています。各学年とも、日頃の授業で積み重ねてきた学びを総合的に発揮し、観てくださる方々へ「よりよい形で届けたい」と、試行錯誤しながら一生懸命練習に励んでいるところです。一人ひとりの思いが詰まった舞台は、子どもたちが大きく成長する貴重な機会となります。当日はこれまでの努力の成果を温かく見守っていただければ幸いです。子どもたちの生き生きとした発表を、ぜひ楽しみにお越しください。

【11月の行事予定】

	月	火	水	木	金	
27週	2	3	4	5	6	
	14時バス	文化の日	委員会活動	どんぐり遊び	ALT来校 6年 kitara ファーストコンサート	
28週	9	10	11	12	13	14(土)
	14時バス		児童公開日 (1・3・5年) 5・6年 15時バス	児童公開日 (2・4・6年)	ALT来校	学習発表会
29週	16	17	18	19	20	
	振替休業日	6年移動プラネタリウム	中どんとレ 6年非行防止教室 5・6年 15時バス	どんぐり遊び 就学時健康診断	中どんとレ ALT来校	
30週	23	24	25	26	27	
	勤労感謝の日	中どんとレ	委員会活動	中どんとレ	ALT来校	
31週	30	12/1	2	3	4	
	6年宮の森中講演会 14時バス	全校朝会 教えてファイヤーマン (3・4年)	どんぐり遊び 5・6年 15時バス	中どんとレ	学習参観懇談(全学年) ALT来校	

【校外における生活について】

秋が深まり、外が暗くなるのも早くなってきました。札幌市の小学校では、校外における生活について以下のようになっています。ご家庭でも確認いただきますようお願いいたします。

帰宅時刻

映画・カラオケボックスなど
ゲーム場

16:00(11月～2月)

保護者またはこれに準ずる者が同伴の場合のみ可
保護者同伴でも望ましくない

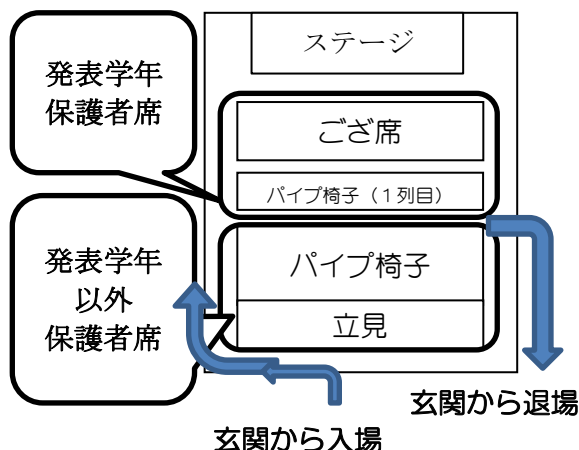


学習発表会について

体育館前方のごさ席及びパイプ席（１列目）での観覧は、発表学年の保護者のみとなります。お子さん以外の発表を観覧する際はパイプ席（２列目以降）または、立見となります。また、発表まで多目的室のテレビを視聴しながらの待機もできます。

８：１５ 児童登校 〔全学年〕
 ８：３０～ １年生発表（１５分）
 ８：５０～ ３年生発表（２０分）
 ９：１５～ ５年生発表（２０分）
 ９：４０～ ２年生発表（１５分）
 １０：００～ ４年生発表（２０分）
 １０：２５～ ６年生発表（２０分）
 １０：５０～ 児童下校 〔全学年〕

発表時間
以外は、
教室で授
業です。



- ・ばんけいスキー場ウエスト前駐車場をご利用ください。
- ・上靴（スリッパ）及び靴袋、**ネームホルダー**をご準備ください。外靴は、靴袋へ入れ、各自お持ちください。

体の不自由な方、車いすでの観覧をご希望される方は、学校までご相談ください。

※カメラマンによる撮影は、児童公開日に行います。保護者公開日の撮影はありません。
 ※ビデオ撮影される場合は、目線の高さ程度で撮影をお願いします。立って撮影される場合は、体育館後方の立見席をご利用ください。また、SNSなどに画像、動画を投稿しないなど、個人情報保護等にご協力ください。

【学習参観・懇談について】

日時 １２月４日（金）
 全学年 １３：１５～１４：００
 懇談会 １４：０５～１４：４５
 下校 １４時バス下校（全校一斉）

詳細などについては、後日配付される学年便りや時間割をご確認ください。

【PTA ネームホルダー着用をお願い】

ご来校の際には保護者であることを示す PTA ネームホルダーの着用をお願いしております。安全性を高めるための取組です。趣旨をご理解いただき、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

なお、ネームホルダーをお忘れになった際は、職員室までお声掛けください。

【日本スポーツ振興センター災害共済給付の請求について】

学校管理下において負傷や疾病等の災害が発生した場合、独立行政法人日本スポーツ振興センター（以下「センター」という）災害共済給付金が支給されます。

センターのシステム更新に伴い令和 8 年 11 月下旬から令和 9 年 1 月中旬の期間中、給付金の請求を行うことができません。

提出予定の書類がお手元にある場合には、学校でシステムの登録を行う必要がありますので、「11 月 10 日まで」に学校にご提出ください。

なお、令和 9 年 1 月以降は保護者のみなさまが、お持ちのスマートフォンなどからオンラインにて申請できるようになります。詳しくは 12 月以降に改めてお知らせいたします。

ネットコラムシリーズ5 保護者の SNS 利用が子どもに与える影響とは？

SNS は今や大人にとっても日常の一部。育児の記録や家族の思い出を投稿したり、情報収集や交流の場として活用したりする方も多いでしょう。しかし、保護者の SNS 利用が子どもにどんな影響を与えているか、意識したことはありますか？

まず注目したいのは「保護者の投稿が子どものプライバシーに関わる」という点です。何気なく載せた写真やエピソードが、子どもにとっては恥ずかしかったり、知らない人に見られたくない内容だったりすることがあります。「うちの子、こんなことして笑っちゃった！」という投稿も、本人の気持ちを確認せずに公開すれば、信頼関係を損なう原因になりかねません。

また、大人が SNS に夢中になる姿を見て、子どもが「スマホばかり見ている」「話しかけても反応がない」と感じることもあります。これは、家庭でのコミュニケーション不足につながり、子どもが「自分より SNS が大事なのかも」と誤解することもあります。保護者の行動は、子どものメディアとの付き合い方に大きく影響します。

さらに、保護者が SNS で過激な言葉や偏った情報を発信していると、子どもはそれを「普通」と受け止めてしまう可能性もあります。家庭での情報モラル教育は、まず保護者自身の姿勢から始まるのです。

SNS は便利で楽しいツールですが、使い方には責任が伴います。子どもの写真や情報を投稿する際は、本人の気持ちを尊重すること。スマホを使う時間や場面を意識し、家庭での会話を大切にすること。そして、発信する言葉が誰かを傷つけていないかを考えること——これらを意識するだけで、子どもにとって安心できる家庭環境が整います。

まずは自身の SNS の使い方を振り返ってみませんか。